

茨城県立高校の授業で「明るい未来へTRY!」を 活用した授業を実施しました！

～新学習指導要領で求められるアクティブ・ラーニング型授業の実践～

日本損害保険協会 関東支部 茨城損保会(会長：河上 精二・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 茨城支店 支店長)では、9月15日に茨城県立日立第二高等学校で、同校・武藤智教諭の協力のもと、新学習指導要領で求められる「主体的で、対話的で、深い学び」を目的としたアクティブ・ラーニング型授業を実施しました。

当日は高校3年生の選択科目「時事問題」を選んだ22名を対象に、高校生向け副教材「明るい未来へTRY!」を使用して、当協会が示している教員用のカリキュラムを参考にしながら「私たちの身近な生活に潜むリスクに備える損害保険について学ぶ」と題した50分間の授業およびグループ学習を行いました。

初めに武藤教諭から、リスクに対する保険や、社会保険を補完する民間保険の役割など、動画教材を併用した説明がありました。次に4つのグループにわかれて「明るい未来へTRY!」にある「やってみたいこと」を選び、それに伴うリスクについて意見交換した上で、グループ発表を行いました。

次に武藤教諭から、台風13号に伴う豪雨により災害救助法が適用された日立市の浸水被害について言及がありました。これを踏まえ、当協会・関東支部から、自然災害発生時の火災保険や地震保険の必要性について、東日本大震災発生時に業界一丸となって保険金が迅速に支払われるように尽力し、被災者の生活再建に役に立ったことなどを例にとった解説がありました。

最後に「こんな保険があったらいいな!」という意見交換を行い「ブランド保険」など、高校生ならではのユニークな発想による発表がありました。

授業を受けた生徒の感想は以下のとおりです(下表参照)。

本授業を通じて、社会生活を送る上で、各場面のリスクに応じて保険を活用していくことが重要であると認識してもらい、リスク教育を推進することができました。また、実際の台風等の自然災害を体感している生徒がいたことから、臨場感を持って、損害保険の必要性を認識してもらうことができました。

当支部では、このような授業実践、講師派遣等を通じて、今後も高校生の損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。



動画教材を併用しながら説明する武藤智教諭



模造紙に記入し意見交換



グループ毎にまとめた結果を発表



生徒に問いかけを行い説明する様子

〈生徒の授業後の感想〉 (抜粋)

- 保険の種類之多さと重要性がよく分かった。東日本大震災発生時に被害が起きてから3ヶ月で多額の保険金が支払われたことには驚いた。
- 損害保険には、保険金が支払われるものとそうでないものがあることが分かった。
- 保険についての知識をこれからの生活に活かしていきたい。
- 人身事故での損害額が場合によっては、5億円以上かかる事が分かり驚いた。また、動画での説明はとても分かりやすかった。
- できるだけ保険に入り、生活を安心させたいと思った。
- 改めて、保険について学んで人生でとても大切なものだと感じた。これから生きていくためには、保険に入っておくべきだと思った。
- とてもためになる授業だと思った。将来、保険の種類之多さに惑わされず、自分の入るべき保険を、見分けられるようにしたい。
- 色々な場面でのリスクに備えるための保険がたくさんあって、どの保険も重要なことが分かった。将来、自分自身や家族のためにも保険に入っておこうと思った。
- 「ペットを飼う」「車でドライブ」「友達と旅行に行く」などのやってみたいことのメリットとデメリットに当てはまる例があり、楽しいだけではないということが分かった。
- ドライブでのリスクは、ぶつかって自分と他の車にキズがついたり、ガードレールにぶつかって車にキズがつくことなどがあることが分かった。自動車保険に入っていると色々なことが補償されるので保険は大事だということが分かった。
- 動画を視たり話を聞いたりして、保険についての知識を深めることができた。特に、ペット保険の内容が一番興味を持った。飼っているペットが病気や怪我をした時に、苦労しなくてもいいよう保険に入っていた方が良かったと思った。
- ペットを飼ってからのリスクなどを確認できたので良かった。保険のことをきちんと知ることができたので、これから大人になるまで慎重に考えることができそう。日本損害保険協会から実際の話が聞けて勉強になった。
- 保険は、まだ関係ないと思っていたが、成人してから私たちにも関係があることだと感じた。何をするにも保険が関わってきて、その大切さを実感した。
- 自然災害も保険の対象であることや、ボランティア保険もあると聞き驚いた。私たち国民がどのように負担を分かち合うのかという課題を聞き、考えさせられた。海外で、病気・盗難などのリスクに備え保険に入る重要性を知り、保険は私たちがより良く暮らすためにあると痛感した。
- ペット保険を考え、ペットだけではなく、人間も自動車などに対する保険は大事だと感じた。保険に入っていないことで、自己負担が大きくなる。自分も保険に入る歳になったら、必要な保険には入ろうと思った。